

社中の丘



卒業後も「義塾社中」の一員として

社中とは、慶應義塾を構成している塾生、塾員、教職員をすべて包含した結社と考えてよく、塾生の保護者も広い意味での社中の一員といえます。そして、塾員の皆さまには、「社中の協力」を卒業後もさまざまな場面で実感する機会があります。ここでは、卒業後の義塾との関わりについてご紹介します。

■慶應オンライン

「慶應オンライン」は、インターネットを利用した塾員用ネットワークサービスです。登録することで、塾員同士のさまざまな交流に役立てられます。

主な機能としては、生涯利用可能な転送メールアドレスが取得できるほか、慶應オンラインに登録されている塾員の方を検索し、メールを送ったり、慶應オンライン上でやりとりしたりすることができます。さらに、プロフィールを登録することにより、共通の趣味や話題を持った仲間を見つけてコミュニティを作り、交流することもできます。ぜひご利用ください。



塾生時代は、keio.jp
塾員になったら、jukuin.keio.ac.jp

アクセスはこちらから

<https://www.jukuin.keio.ac.jp/>

■住所変更の届け出

義塾では、「氏名」「自宅住所」「自宅電話番号」「勤務先」等を卒業後も塾員情報としてお預かりし、それらは義塾からのお知らせ、三田会・クラス会の連絡等に活用されます。転居、改姓等による氏名や住所等の変更、勤務先の変更があった場合は、以下のいずれかの方法で塾員センターまでお届けをお願いします。

- ① 塾員センター ホームページ内 [URL http://www.2.jukuin.keio.ac.jp/reg.html](http://www.2.jukuin.keio.ac.jp/reg.html)
- ② 慶應オンライン（上記参照・初期登録が必要です）
- ③ FAX 03-5427-1546
- ④ 郵送 〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45 慶應義塾塾員センター

なお、③・④の方法による場合は、氏名・卒業年、学部、生年月日、自宅住所、自宅電話番号、勤務先を記載のうえ、お届けください。

■塾員招待会

義塾では毎年、「卒業 25 年塾員招待会」として卒業式に卒業後 25 年目の塾員を招待し、「卒業 50 年塾員招待会」として卒業後 50 年目の塾員を入学式に招待しています。つまり慶應義塾大学を卒業した人は、人生で二度、入学式と卒業式の感動を味わえるのです。さらに、卒業後 51 年以上の塾員を対象に、「卒業 51 年以上塾員招待会」も開催しています。

2013 年は 1988 年（昭和 63 年）129 年三田会（卒業 25 年）、1963 年（昭和 38 年）104 年三田会（卒業 50 年）をご招待します。



■慶應連合三田会大会

毎年秋に開催される「慶應連合三田会大会」では、塾員やそのご家族、塾生、地域の方々が約 20,000 人集い、日吉キャンパスで楽しい一日を過ごします。講演会やシンポジウム、コンサートのほか、豪華賞品がそろった「福引抽選会」など多彩なアトラクションが盛りだくさんです。大会の運営は卒業後 10、20、30、40 年目の年度三田会が担当します。塾員同士での来場はもちろん、ご家族連れの来場も多く、日吉キャンパス全体が華やかな雰囲気包まれます。



■三田会

「三田会」は、塾員有志が自発的に集い運営している団体です。塾員同士の強い絆を象徴する義塾ならではの同窓組織といえるでしょう。卒業年による「年度三田会」、国内外の地域ごとに設けられた「地域三田会」、企業単位や業種で結成される「勤務先・職種別三田会」のほか、クラブ・サークル、研究会（ゼミ）などの単位で集う「諸会」があります。これらの三田会を包括する組織が「慶應連合三田会」です。870 を超える三田会が登録しています。塾員同士の交流・親睦の場となりますので、ぜひ参加・参画してください。

慶應連合三田会ホームページ

URL <http://www.rengo-mitakai.keio.ac.jp/>

■社中交歓 萬來舎

塾員ならびに教職員が世代・分野を超えて集える新たな交流の場として、「社中交歓 萬來舎」を開設しました（パレスホテル運営）。落ち着いた雰囲気のラウンジ施設では、飲み物、軽食を提供します（有料）。お一人でも気軽にご利用でき、また、歓談・待ち合わせ等にもご利用いただけます。

ラウンジ施設の他に少人数で利用できる個室 3 室も併設していますので、各三田会をはじめ塾員同士の会合・打合せ・勉強会等にご利用ください。



ご予約・お問い合わせ

社中交歓 萬來舎（三田キャンパス 南校舎 3 階）

月曜日～土曜日 11:00～21:00

電話 03-3453-5661 FAX 03-3453-5673

■慶應カード

「慶應カード」は、義塾と（株）慶應学術事業会およびクレジットカード会社が提携して発行しているクレジットカードです。ご利用代金の一部は塾生の奨学金として活用されています。また、慶應カード独自のサービスもご用意しています。社中を繋ぐ「絆の一枚」として、多くの皆さまにご利用いただきたく願います。

URL <http://www.keiocard.com/>

■維持会

「慶應義塾維持会」は、義塾の維持運営のために寄付を行う組織として、福澤先生逝去の折に設立された伝統ある組織です。現在会員は 44,800 名を数え、皆さまからのご厚志は、奨学支援を事業の中核に、義塾の教育・研究活動に幅広く活用されています。今年度は東日本大震災により被災した塾生の奨学金を助成しました。ご加入期間、義塾機関誌『三田評論』を贈呈します。多くの皆さまのご加入をお願いします。

URL <http://www.kikin.keio.ac.jp/ijikai/>

✕ 福澤諭吉記念文明塾運営基金

「一身独立して一国独立す」福澤諭吉が抱いた夢と志。激動の時代を再び迎えた今こそ、自ら考え自ら行動する者同士が互いに協力して新しい社会を切り拓いていくことが求められています。こうした人材を育むため誕生したのが「福澤諭吉記念文明塾」です。“未来貢献の志”を持つ優秀な者に開かれた学び舎として、以下の理念の下に運営されています。

- ◇ 私塾の原点に還る
- ◇ 学生と社会人がともに学ぶ
- ◇ 社中協力による運営

経済的理由で学ぶ機会を逃すことがないよう、義塾内外から広く支援を受け、多大な経済的負担なく学べる環境を整備するため「福澤諭吉記念文明塾運営基金」を設けています。

皆さまのご理解・ご支援をお願いします。

URL <http://www.fbj.keio.ac.jp/>



✕ 慶應義塾大学病院 3号館(南棟)オープン

2012年8月にオープンした信濃町の新しい臨床棟・病棟「3号館(南棟)」は、「早期発見・早期治療～包括的な先進医療の提供と予防医学の実践～」を使命に掲げています。新設した予防医療センターでは、PET/CTを使った先進的な「人間ドック」を開始し、三大生活習慣病(がん、心臓疾患、脳血管疾患)の早期発見、診断に取り組んでいます。また、がんとりウマチなど全診療科一体で外来診療を実施する腫瘍センターと免疫統括医療センター、移設されたリハビリテーション科に加え、5階・6階には全室個室の病室(58床)を擁しています。窓からは明治神宮外苑と新宿御苑をのぞむ緑ゆた

かで落ち着いた環境の中で、健康寿命延伸を希求する社会的ニーズに応え、迅速で質の高い検査診断と治療を実践しています。

「予防医学」の必要性を訴えた初代医学部長・病院長の北里柴三郎博士に、福澤諭吉先生は、七言絶句「贈医(医に贈る)」において「医学は自然と人間の果てしない闘いである。病の臣となることなく、鋭い洞察力、繊細な感性、研ぎ澄まされた技量で疾患と闘うべきである」と説きました。

2017年、医学部は創立100年を迎えます。3号館(南棟)は、「先進医療と予防医学の実践」のさきがけの場として、ワンランク上の医療サービスの提供を目指しています。



最新の診断機器で健診を行う予防医療センターは3階。「人間ドック」は総合的な診断を行う基本コースに加え、「脳」「心臓・血管」「レディース」「アンチエイジング」「メタボリックシンドローム・腎臓」「運動器」など、専門性の高い検査を用意しています。



5・6階病室は、入院センターと病棟スタッフ、コンシェルジュが入院予約から退院まで患者さんのライフスタイルに合わせ、最適切かつ安心な治療計画を提供しています。

慶應義塾大学病院 3号館(南棟)

URL <http://www.hosp.keio.ac.jp/3rd-s/>

※受付時間など詳細は、Web サイトでご確認ください。

人間ドックの予約 電話：03-6910-3533

入退院について 電話：03-3353-1208

初診予約 電話：03-3353-1257

予約の確認・変更 電話：03-3353-1205

その他お問い合わせ 電話：03-3353-1211



～世界に開かれた学府を目指し、学問の力で未来を築く人材を育てます～

新しい事業のご案内とご支援のお願い

矢上、湘南藤沢、信濃町キャンパスはそれぞれ節目の年を迎えようとしています。

矢上キャンパスでは2014年に理工学部創立75年、湘南藤沢キャンパスでは2015年に開設25年、さらに信濃町キャンパスでは2017年に医学部が創立100年を迎えることとなりました。社中の皆さまをはじめとするたくさんの方々のご支援に感謝します。慶應義塾は、学問によって自分の頭で考えることのできる人を育て、世の中に新しい叡智を付加し、医療等社会貢献をさらに進めて

いくことが使命であり、節目の年をめどに、さらなる成長をなす事業を推し進める予定です。

また事業資金の礎として、目標総額140億円（期間：2012年度から2017年度）の募金を開始しました。それぞれの事業の趣意をご理解いただき、塾員、保証人・保護者、教職員などすべての「社中」の皆さまのご賛同とお力添えをお願い申し上げます。事業内容ならびに募金のお願いにつきましては、慶應義塾のWebサイトに掲載するとともに、順次お手元にお届けします。

2014年

2015年

2017年



2014年

75th

世界トップレベルの教育研究拠点の形成

矢上キャンパス

理工学部創立75年記念事業

- ☐ 国際人材育成基金の設立（世界に通じる人材の育成）
- ☐ 慶應義塾基礎科学・基盤工学インスティテュートの設立（グローバルリーダーとしての研究者の育成）
- ☐ 慶應義塾イノベーションファウンダリーの設立（21世紀の産業界を牽引する人材の輩出）

URL <http://www.75.st.keio.ac.jp/>



2015年 25th

未来創造塾開設

湘南藤沢キャンパス(SFC)

グローバル化拠点としての滞在型教育研究施設

- ☐ 未来創造塾は慶應義塾全体のグローバル化の拠点として必須のインフラを用意します。
- ☐ SFCに滞在型教育施設を設け国内外の研究者や学生が塾に集って切磋琢磨する場とします。

URL <http://www.miraisozo.sfc.keio.ac.jp/>



2017年 100th

大学病院新病院棟建設

信濃町キャンパス

新病院棟建設を中核とした世界に冠たる総合医学府の構築

- ☐ 全ての医療チームが結集し、国民の健康増進と疾患制圧に貢献するクラスター診療の実現
- ☐ 世界最先端の基礎臨床一体型医学の展開による国際医療拠点の創設
- ☐ 災害に強い都市型地域医療の推進
- ☐ 医看業の連携による世界を先導する医療人の育成